

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

## 久慈市教育委員会「放課後子ども教室推進事業」の成果と課題(岩手県久慈市)

### 取組事業

放課後子ども教室事業

### 活動実施場所

市内全公民館（公民館9館、分館1館）  
長内小学校、小久慈小学校、大川目小学校、夏井小学校、  
平山小学校、久喜小学校、小袖小学校、山形小学校、小  
国小学校、霜畑小学校、来内小学校

### 取組概要

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の委託を受け、放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な居場所を確保し、学習内容の定着と地域コミュニティの充実を目指し実施する。平成28年4月1日から平成29年2月28日までの期間、放課後、土曜日、日曜日、長期休業中に年間50日程度、地域の子ども（主に小学生）を対象に実施している。

市内の各地区公民館及び小学校などを会場に放課後の1～2時間程度、自学自習形式の学習やコーディネーター等による活動プログラムなどを実施し学習内容の定着を図るほか、工作や実験、調理など公民館付近で様々な体験活動を提供している。

また、長期休業中には、地域住民の協力のもと、公民館から離れた場所なども利用し、屋外における様々な体験活動も実施している。



ペットボトル  
作り



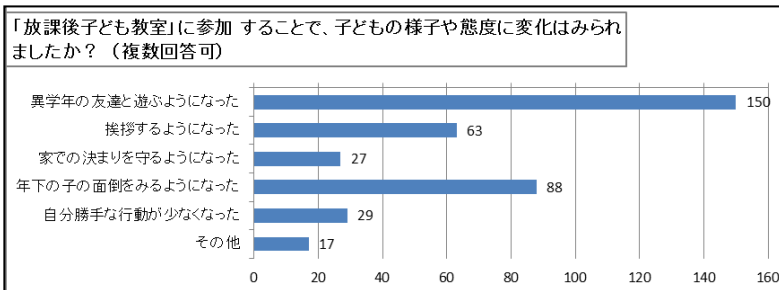
塩の  
道散策

### 事業成果

放課後の安全・安心な居場所として定着し、異学年との関わりが増えたことで、上級生は面倒見がよくなり、学年や男女に関係なく遊ぶようになった。各種活動においても、高学年が低学年に自然に声掛けをしたり、教えたりする姿が見られるようになってきている。

平日の活動の前には宿題を終わらせるなど、学習の習慣化も図られている。サポーターや職員が協力し、特技や地域の特色を生かした活動を実施しており、子ども同士だけでなく、地域の大人との交流もできている。

地域の環境、文化、そして人とふれ合うことで、保護者からは、「近所に友達がいなかったが、少し家の離れた友達のところにも遊びに行けるようになった。」や「以前より外でたくさん遊ぶようになった。」という声が聞かれるようになった。



### 課題や今後の取組

- （課題）
- 参加する子どもやサポーターの減少、また、活動場所が限定されるため、活動内容が限られてきている。
  - 遊びや活動に早く取り組みたいために学習がおろそかになることもあるため、学習の習慣化には引き続き取り組んでいく必要がある。
  - 1年生から6年生まで一緒に取り組める共通のプログラムには工夫が必要である。
- （今後の取組）
- 活動内容がマンネリ化の傾向にあるため、新たな活動プログラムを検討していく必要がある。
  - 事業の充実に向けて、参加する子どもやサポーター、活動場所の確保について、学校や地域との協力体制を深めていく必要がある。